民間団体・企業等との包括連携協定

Scenic Byway HOKKAIDO

民間企業との包括連携協定

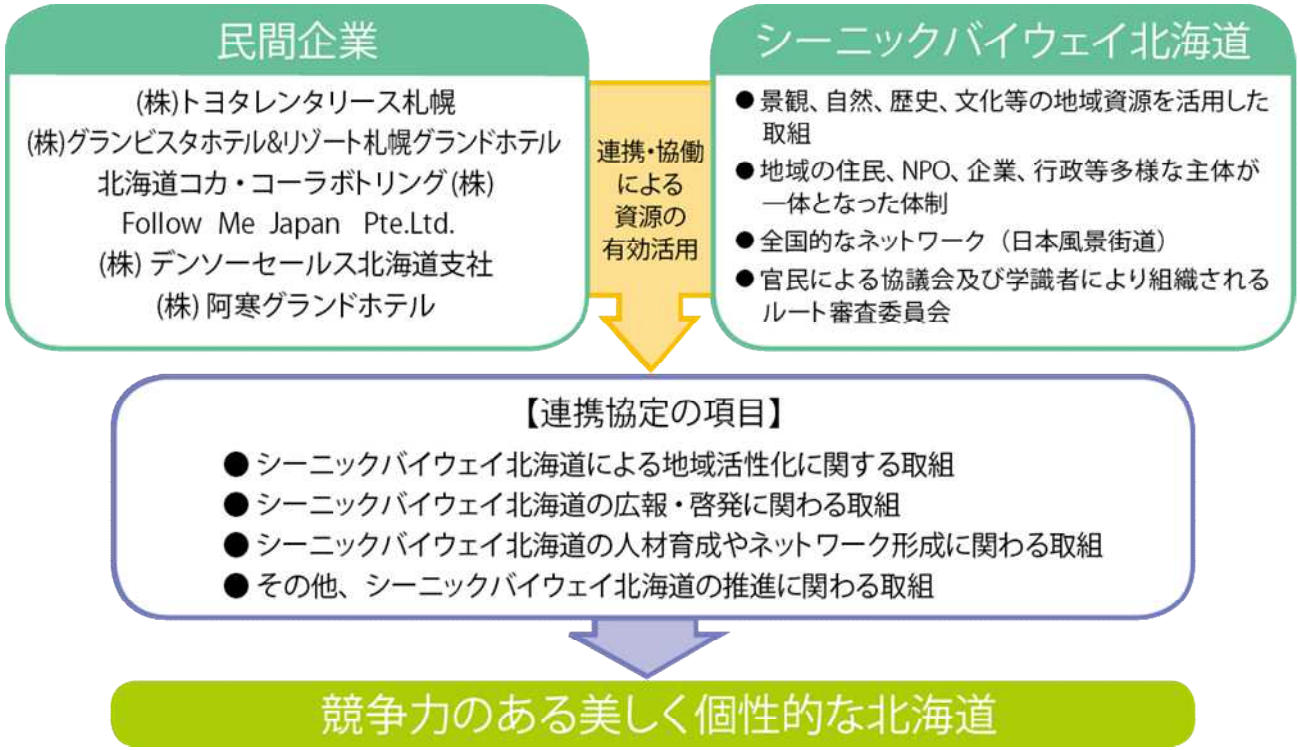
シーニックバイウェイ北海道は、競争力のある美しく個性的な北海道を実現していくことを目的として、民間団体・企業等と、北海道固有の景観、自然、歴史、文化、レクレーション資源等地域資源を最大限活用し、双方の資源を有効活用した効果的連携活動として、連携に関する包括協定制度を平成２４年度より開始しました。

平成２４年１２月１日

株式会社トヨタレンタリース札幌、㈱グランビスタホテル＆リゾート札幌グランドホテル、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、Follow Me Japan.Pte.Ltd.との包括連携協定が締結される。

平成２５年６月２４日

株式会社デンソーセールス北海道支社、株式会社阿寒グランドホテルとの包括連携協定が締結される。



民間団体・企業等との包括連携協定

Scenic Byway HOKKAIDO

➢平成24年12月1日、協定締結

トヨタレンタリース札幌

札幌グランドホテル

Follow Me Japan. Pte. Ltd.

北海道コカ・コーラボトリング

➢平成25年6月24日、協定締結

デンソーセールス北海道支社

鶴雅グループ阿寒グランドホテル

様式１「シーニックバイウェイ北海道と民間企業等との効果的連携活動に関する提案シート」

提案民間団体・企業等	＜住　　所＞北海道札幌市豊平区羊ヶ丘１番地 ＜名　　称＞株式会社北海道日本ハムファイターズ ＜代表者氏名＞竹田　憲宗		
連絡責任者	（役　職）執行役員事業統轄本部長 （氏　名）前沢　賢		
責任者所在地	北海道札幌市豊平区羊ヶ丘１番地		
電話番号	011-857-7000	ＦＡＸ番号	011-857-8006
E-mailアドレス	ken_maezawa@fighters.co.jp		

提案の種類① （複数選択可）	☑ ①シーニックバイウェイ北海道による地域活性化に関する取組
	☑ ②シーニックバイウェイ北海道の広報及び啓発に関わる取組
	□ ③シーニックバイウェイ北海道の人材育成やネットワーク形成に関わる取組
	☑ ④その他、シーニックバイウェイ北海道の推進に関わる取組
提案の種類② （複数選択可）	☑ ①美しい景観づくり
	☑ ②活力ある地域づくり
	☑ ③魅力ある観光空間づくり
事業実施希望時期	平成２９年１０月２４日から１年間
推薦団体等名	一般社団法人　シーニックバイウェイ支援センター
提案内容	１．大規模災害等の発生時のシーニックバイウェイ北海道の各ルートに関連する被災地の観光等の広報支援に資する活動 ２．シーニックバイウェイ北海道の各ルートと連携した情報発信活動 ３．「道の駅」を活用した北海道日本ハムファイターズ×道の駅×シーニックバイウェイのスペシャルコラボレート ・フォトコーナ設置 ・コラボグッズ開発、販売 ４．シーニックバイウェイ北海道の各ルートにおける景観保全活動との連携 ・花壇やゴミ拾いなど参加者との交流、参加賞の提供など ５．その他北海道の魅力アップ等の事案でシーニックバイウェイ北海道推進協議会と北海道日本ハムファイターズが合意したもの

※提出にあたっては、別紙の記載方法を参照してください。

様式２「ルート運営代表者会議または指定された支援組織からの推薦状及び事業連携等の実績」

提案民間団体・企業等	＜住　　所＞北海道札幌市豊平区羊ヶ丘１番地 ＜名　　称＞株式会社北海道日本ハムファイターズ ＜代表者氏名＞竹田　憲宗		
連絡責任者	（役　職）執行役員事業統轄本部長 （氏　名）前沢　賢		
責任者所在地	北海道札幌市豊平区羊ヶ丘１番地		
電話番号	011-857-7000	ＦＡＸ番号	011-857-8006
E-mail アドレス	ken_maezawa@fighters.co.jp		

推薦団体等	＜名　　称＞一般社団法人　シーニックバイウェイ支援センター ＜代表者氏名＞代表理事　原　文宏

事業連携等の実績

連携期間	平成２９年８月～
連携内容	１．北海道日本ハムファイターズ「ＡＭＢＩＴＩＯＵＳシリーズ」における試合前セレモニーとの連携（シーニックバイウェイ関連地域のご当地キャラの登場等） ２．北海道日本ハムファーターズ「ＡＭＢＩＴＩＯＵＳＵシリーズ」期間における札幌ドームでのシーニックバイウェイ北海道のパネル展示

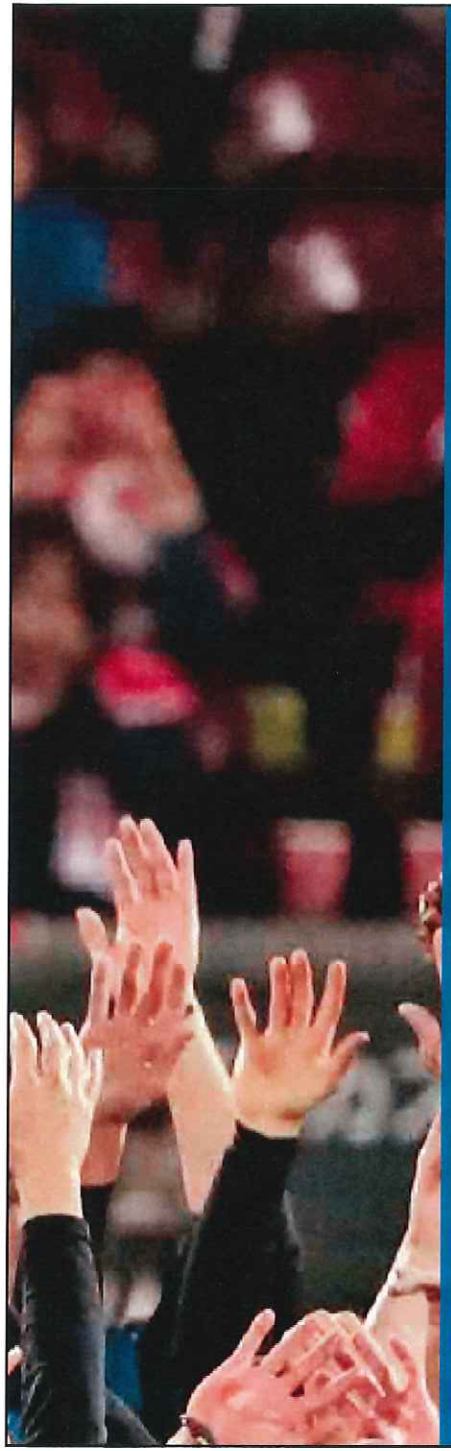
4

上記、「提案民間団体・企業」については、これまで我々「推薦団体」との連携事業等を通じて、地域の活性化等に寄与してきました。よって、シーニックバイウェイ北海道と民間企業等との効果的連携活動に資する団体として推薦いたします。

代表者名　一般社団法人　シーニックバイウェイ支援センター
代表理事　　原　文宏　印

COMPANY PROFILE

HOKKAIDO NIPPON-HAM FIGHTERS



会社案内

Our Mission

わたしたちは、北海道に根ざす球団として、
『Sports Community』を企業理念に掲げ始動いたしました。
ファンに愛され、地域から必要とされる球団を目指し
全力で前進して参ります。
夢を持った挑戦をし、勝利を見つめ、つねに留まることなく
成長するプロ野球球団を目指します。

～ごあいさつ～

北海道日本ハムファイターズは、地域密着球団として北海道に誕生して以来、企業理念「Sports Community」を掲げ、地域社会の一員として地域社会との共生を図り、スポーツと生活が近くにある心と身体の健康を育むコミュニティの実現に向けて、道民の皆さまとともに様々な活動を行ってまいりました。
2017年スローガンは『ファンビシャス』です。
大きな志を抱き、ファンの方々とファイターズが志をひとつにして「Challenge with Dream」北海道日本ハムファイターズの新たな歴史を切り拓いてまいります。「Fan Service 1st」チームの勝利に向け、常に全力で戦う姿勢や最後まで諦めないプレーで夢や感動を提供することにより日本一愛されるチームとなり、球団史上初となる日本一連覇を目指してまいります。
フロントは「企業価値向上」「ファン拡大」を目指し、日本一のエンターテイメントを創出し、213万人の観客動員目標にチャレンジいたします。
更に『北海道民夢のボールパーク』となる新球場建設に向けた本格的な調査検討を開始いたしました。
食とスポーツを通じて道民の皆さまの心と身体の健康づくりへの貢献に必ず繋がるものと信じ、北海道の皆さまに愛され、頼りになる、なくてはならない球団として、北海道民538万人に『ファイターズの存在が北海道民の誇り』と感じていただき、地域の皆さまと共に『夢を語りあえる球団』として社会貢献活動を続けてまいります。
今後とも北海道日本ハムファイターズへのご声援、よろしくお願い申し上げます。

株式会社北海道日本ハムファイターズ　代表取締役社長　　竹田　憲宗

北海道日本ハムファイターズ

企業理念

Sports Community

スポーツと生活が近くにある、心と身体の健康をはぐくむコミュニティを実現するために、
地域社会の一員として地域社会との共生をはかる。

スポーツは人々の健康に貢献し、人と人が触れ合う交流の機会となり、
人と人との心がつながるコミュニティを創造する力となる。
ファイターズは「スポーツと生活が近くにある社会＝Sports Community」の実現に寄与したい。

経営理念

Challenge with Dream

～既成概念に縛られない、夢を持った挑戦を実現する～

これまでの概念にとらわれず、長期的視点・継続的視点に基づき、
チーム（選手）・ファン・地域社会とともに成長するプロ野球球団を目指す。

活動指針

Fan Service 1st

～全ての活動にファンサービスを優先させる～

チーム（選手）に留まらず、フロント自身が最初のファン（1st Fan-Ship）としての
眼差しをもつことで、Fan Service 1st を実現する。

活動指針を実現するための具体的行動

Front (Office Management)

1. ファンの皆さまや地域社会の皆さまに夢や感動を与えるチームづくりを実現する。
2. スポーツエンターテイメントを提供するための積極的行動（観客動員）を実践する。
3. 試合に留まらず、スポーツコミュニティ実現のために地域社会との接点（交流機会）を積極的に創造する。

Team (Field Management)

1. 勝利を目指して全力でプレーする。
2. 地域社会の皆さまに夢や感動を与えるプレーを提供する。
3. 積極的にファンの人々と関わりを持ち、地域社会の一員として自覚ある行動をする。

スポーツコミュニティの創造と実現を目指して

北海道日本ハムファイターズが誕生して以来、地域社会の一員として地域社会との共生をはかり「スポーツと生活が近くにある社会＝Sports Community」を企業理念に掲げ実現を目指しております。
また、「スポーツ環境」だけでなく「生活／地域環境」などにおいて、持てる資源やノウハウを活用し次世代を担う青少年の育成、健やかな社会の実現のため、『スポーツコミュニティ活動』を推進しています。
ファイターズの選手もスポーツコミュニティの実現に向け、積極的な活動及び協力を行っております。
地域密着を掲げるファイターズ鎌ケ谷スタジアムでは、独自の取り組みを実施しております。

SPORTS COMMUNITY
HOKKAIDO NIPPON-HAM FIGHTERS

スポーツ

◎野球教室
◎リアル野球盤
◎ベースボールアカデミー
◎ダンスアカデミー
◎観戦招待
◎他競技との交流

生活／地域

◎WE LOVE HOKKAIDO
◎後援会設立
◎スマイルキャラバン
◎マスコット交流
◎幼稚園訪問
◎イベント開催

チーム／選手

◎ファンフェスティバル
◎179市町村応援大使
◎ファイターズ基金
◎病院/小学校訪問
◎ふれあい活動
◎団体支援活動

鎌ケ谷スタジアム

◎健康増進
◎自然とのふれあい
◎地域イベントの実施
◎TERAKOYA
◎食べる楽しさ
◎地域の活性化

稲葉篤紀SCO(スポーツ・コミュニティ・オフィサー)と想いを共に取り組んでいきます。

Sports Community Officer (SCO)

↓ 企業理念　　↓ 責任者

北海道日本ハムファイターズは稲葉SCOと共にSC活動の実現と北海道のスポーツ文化の発展、更なるコミュニティづくりを目指し地域との共生をはかってまいります。

野球競技普及
ファイターズアカデミー活動への定期参加(背番号41のユニフォーム着用)、指導教材等への出演、指導書の監修、メディアを通じた野球の魅力伝達。

CSRの推進
球団が行うCSR活動への参加、ファイターズ基金PR、選手会とのパイプ役としてチームが関わる新たな企画の立案、メディア・SNSを通じた積極的な広報展開、講演活動。

地域連携
他スポーツ団体との交流、スポーツ環境整備に向けた行政・関係団体との協議、生活環境改善活動・地域コミュニティ活性化への寄与(福祉、まちづくり、食と健康)、エコプロジェクトなどの自然環境保全に関わる活動。

<私たちの主な取り組み事項>
北海道日本ハムファイターズはプロ野球を通じて公共財といえるスポーツの持つ価値を活かした地域社会づくりを進めてまいります。
地域社会の皆さまとお互いが有効で有益な関係作りに努めて、地域社会になくてはならない存在であることを目指してまいります。

スポーツ

スポーツを通じたコミュニティの創造・発展を目指し、体験・観戦・応援を楽しむと共に心と身体の健康をはぐくむ場を
ファイターズは提供し続けてまいります。
世代や性別を越えたコミュニケーションの更なる構築、地域活性化への貢献にも取り組んでまいります。

＜野球教室の実施＞
ファイターズOBが北海道各地で野球教室を実施しております。

＜FIGHTERS ジュニア王座決定戦＞
全道の少年野球チームを対象とした野球大会を開催しております。

＜12球団ジュニアトーナメント＞
北海道日本ハムファイターズ・ジュニアチームをつくり、NPB12球団ジュニアトーナメントへ出場しております。

＜リアル野球盤＞
高齢者の健康増進を目的に高齢者施設を訪問してリアル野球盤の普及を行っております。

＜ベースボールアカデミー＞
ファイターズOBが実施。より高いレベルの野球技術の習得を目的に指導を行っております。

＜ダンスアカデミー＞
将来のファイターズガールを目指して、3歳以上の女の子を対象にダンスレッスンと発表会を行っております。

SPORTS COMMUNITY
スポーツコミュニティ

04

＜観戦招待＞
スタジアム来場、プロ野球観戦の機会を創出し、ファン拡大に向け実施しております。

＜野球貢献＞
NPO法人北海道野球協議会へ加盟。
北海道の野球界発展のために寄与しております。

＜他競技との交流＞
北海道のスポーツ界のために各種競技団体と積極的に交流しております。

生活／地域

北海道日本ハムファイターズは皆さまの日常生活になくてはならないチーム（存在）を目指してまいります。
『WE LOVE HOKKAIDOシリーズ』を通じて北海道がひとつのチームとなり、北海道の皆さまと想いをひとつにして
これからも歩んでいきたいと強く願っております。

WE LOVE HOKKAIDOシリーズ2016

北海道新幹線カラーに染まるWE LOVE HOKKAIDOシリーズ

<パートナー協定>

それぞれが有する特徴ある資源や取り組みをもって連携し、お互いの発展のため協働し【スポーツによるまちづくり】【観光によるまちづくり】【食と健康によるまちづくり】を共に築きあげていくパートナーとしてファイターズはニセコ町・美唄市・新十津川町と「パートナー協定」を締結いたしております。

調印式（新十津川町）

交流イベント（ニセコ町）

交流イベント（美唄市）

<北海道179市町村応援大使>

毎年、18市町村にそれぞれ複数の選手を応援大使に任命し、10年間実施する壮大なプロジェクトです。
応援大使を務める選手は、抽選で決定いたします。

18市町村代表者との決起大会

ポスター（月形町）

チーム／選手

北海道日本ハムファイターズの選手は「プロ野球選手」である前に「社会人」である事を理解し、自ら社会貢献やスポーツコミュニティの実現に向け積極的に取り組んでおります。
常に地域の皆さまへの感謝の気持ちを大切にし、これからも夢と感動を与えるチームを目指してまいります。

＜ファンフェスティバル＞
一年間のご声援に感謝の気持ちを込めてファンフェスティバルを開催しております。

＜地域との交流＞
シーズンオフの期間に選手が各市町村に出向き、地域の皆さまとの交流会を実施しております。

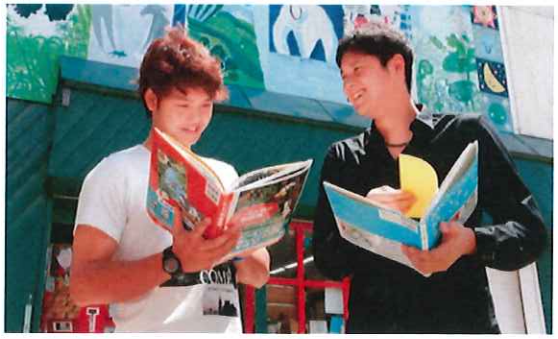
＜ファイターズ基金＞
チケット・グッズの売上げやチャリティなどを『ファイターズ基金』として地域貢献に活用しております。

＜病院／小学校訪問＞
子供たちとのふれあいや楽しい時間を通じて、選手たちもパワーをたくさんいただいております。

＜OBの地域貢献＞
稲葉SCOをはじめ、ファイターズOBがイベントなどで北海道の皆さまと交流を行っております。

＜ファンとのふれあい＞
シーズンオフにファンミーティングやパーティーを開催し、ふれあいの時間を楽しんでいただいております。

＜社会貢献活動＞
各種団体と共同で社会貢献活動を行っております。



＜全道読書推進キャンペーン＞
一人でも多くの方々に豊かな心をはぐくんでいただく事を目的に全道読書推進キャンペーン「クラブを本に持ちかえて」を実施いたしました。

＜団体支援活動＞
医療、難病、障がい者支援など選手会（選手）が自ら支援活動を行っております。

ファイターズ鎌ケ谷スタジアム

地域密着を目指す北海道日本ハムファイターズでは、北海道内の取り組みに限らず、ファーム施設のある『ファイターズ鎌ケ谷スタジアム』(千葉県鎌ケ谷市)でも様々な活動を行っております。
定期的にイベントを開催し、地域とのスポーツコミュニティを積極に行っており、試合開催日だけに限らず、来場されたお客様が楽しく過ごせるボールパークを目指しております。

＜健康増進エリア・鎌スタ☆レッチ＞
地域の皆さまの健康増進のためスタジアム内に健康器具を設置しました。

＜田んぼの自然体験・鎌ス田んぼ＞
スタンド内に水田を作って田植え体験や稲刈り体験を実施しております。

＜鎌ケ谷ランフェスタ＞
鎌ケ谷市と協同して、11月には「ランニングイベント」を開催しております。

＜夏のイベント＞
夏休みには子供達のために大型のウォータースライダーや大プールを設置しました。

＜鎌スタ☆トレイン＞
スタジアムの外周をファイターズトレインが走るイベントを実施しました。

＜鎌スタ☆北海道まつり＞
秋には北海道の食をテーマにした北海道まつりを実施しております。

＜ファイターズラッピングバス＞
京成バスのご協力のもと、オリジナルラッピングバスが路線バスとして運行しております。

＜鎌スタサマースクール～TERAKOYA＞
夏休み期間中、学生インターンスタッフが小学生の体験学習を実施しております。

＜ジンギスカンシート＞
北海道名物ジンギスカンを食べながら野球観戦ができるエリアを期間限定で設置しております。

ボランティアスタッフ

北海道日本ハムファイターズの企業理念である『Sports Community（スポーツコミュニティ）』にご理解いただき、
毎年たくさんのボランティアスタッフの方々のご参加をいただいております。
ボランティアスタッフは北海道日本ハムファイターズを支える心強いパートナーです。

みんながsmile

球団職員、ボランティアスタッフ、場内スタッフが共通の意識のもと、多くのお客様へのサービスやコミュニティ活動を実践いたしております。

スマイル3つの約束

1.笑いかけよう!
ゲストには当然のこと、スタッフ・職員同士でも目を見て挨拶し、笑いかけましょう!

2.きれいにしよう!
スタジアムがきれいなら気持ちよくなるのはゲストもスタッフ・職員も同じです。気がついたらゴミを拾ってきれいにしましょう!

3.楽しもう!
スタッフ・職員が楽しくない場所はゲストも楽しくないはず。われわれが楽しみ、そしてゲストを楽しませましょう!

インターンシップ

首都圏事業部では『スポーツビジネス』『エンターテイメント』などへの関心が高い学生を中心に、インターンシップの受け入れを実施しております。
スポーツコミュニティの実現を目指すスタッフの一員として、ファイターズ鎌ケ谷スタジアムの運営を担っており、卒業後はさまざまな分野で活躍いただいております。

会社概要

商　　号：株式会社　北海道日本ハムファイターズ
チ ー ム 名：北海道日本ハムファイターズ
（英語表記）HOKKAIDO NIPPON-HAM FIGHTERS
BASEBALL CLUB CO.,LTD
本社所在地：〒062-8655　北海道札幌市豊平区羊ヶ丘1番地
TEL 011－857－3939　FAX 011－857－3900
首都圏事業部：〒273-0118　千葉県鎌ケ谷市中沢459番地
TEL 047－446－5586　FAX 047－446－5785
資　本　金：2億円
役員構成：

取締役オーナー	末澤　壽一
代表取締役社長	竹田　憲宗
常務取締役球団代表	島田　利正
取締役チーム統轄本部長 兼 GM	吉村　浩
取締役管理統轄本部長	西田　岳士
取締役	篠原　三典
取締役	川村　浩二
取締役	大社　啓二
取締役	井上　勝美
取締役	片岡　雅史
監査役	奥山　弦

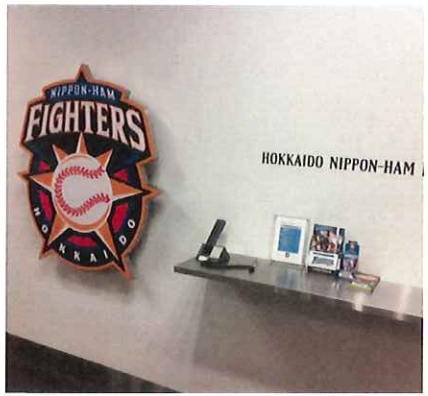
出資企業（団体）…順不同

株式会社北海道新聞	株式会社札幌ドーム	北海道旅客鉄道株式会社
株式会社北洋銀行	株式会社北海道銀行	北海道ガス株式会社
サッポロビール株式会社	札幌商工会議所	北海道電力株式会社
ホクレン農業協同組合連合会	日本ハム株式会社	

設立年月日：平成15年（2003年）8月8日
事業内容：
1. スポーツ及び各種イベントの興行
2. スポーツ用品及びキャラクター・グッズの販売
3. 野球用品の製造
4. スポーツに関する書籍雑誌の出版発行
5. スポーツに関する映像ソフトの制作及び販売
6. 商標権・肖像権・意匠権・著作権の管理及び使用許諾
7. スポーツ施設の経営・管理・賃貸業務
8. インターネット、携帯電話、通信設備及び放送システムを利用したスポーツに関する映像・音声情報の提供サービス
9. 広告宣伝及び広告代理店に関する業務
10. 飲食店、遊戯場、売店、駐車場の経営
11. 飲食物の販売
12. 野球技術の指導並びに野球選手及び指導者の養成
13. ファンクラブの運営
14. 各種団体へのサイン会、講演会などの企画運営
15. 旅行業法に基づく、旅行業務の運営
16. 以上に付帯関連する一切の事業

COMPANY DATA 会社概要 02

札幌事務所(札幌市豊平区)

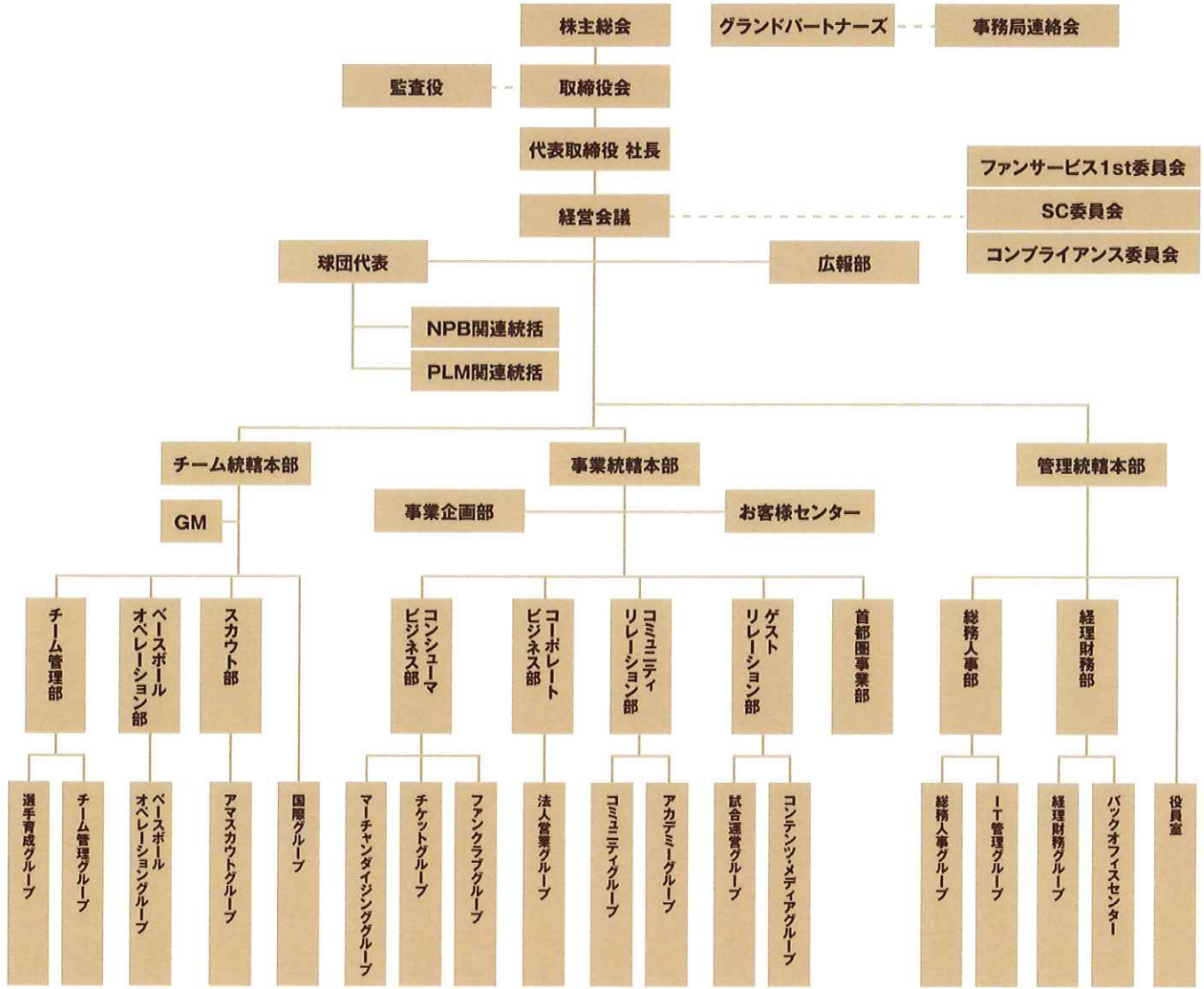


鎌ケ谷事務所(千葉県鎌ケ谷市)

COMPANY DATA 会社概要 03

組織図

（2017年3月現在）



お客様満足／従業員満足向上を目指して

お客様満足度向上と従業員（スタッフ）満足度向上にむけ、所属部署を越えた社内独自の委員会を立ち上げております。
現状改善や私達が目指すべき方向性を検討し、企業としての質の向上、そこに関わる職員（スタッフ）の意識改革を行います。

名称	目的	実施項目
ファンサービス1st委員会	お客様の視点でファイターズの現状の検証と将来に向けての改善点を検証し更なるお客様満足度の向上を目指す。	みんながsmileの制定。 スタジアム案内業務の実施。
SC（スポーツコミュニティ）委員会	スポーツから広がるコミュニティやCSRを推進し多角的に計画・実践・検証することにより企業理念の実現を目指す。	毎月の会議を開催。 CSR活動の企画実践。
コンプライアンス委員会	コンプライアンス活動の強化・継続を推進し従業員（スタッフ）満足度の向上を目指す。	社内研修実施。 社内アンケート実施。

チーム紹介

F-AMBITIOUS
ファンビシャス

【2017北海道日本ハムファイターズ チームスローガン】

F-AMBITIOUS(ファンビシャス)

「大望を抱いた」「意欲的な」「野心のある」を意味するAMBITIOUSに、FIGHTERS、FANの頭文字であるFを付け加え、チームとファンがともに大きな志を持ちながら前進していく思いを表現しました。日本一の栄冠に輝いたのは昨シーズンのこと。守るのではなく、攻めてつかみ取る姿勢を貫きながら、皆さまも望んでやまない球団史上初となる日本一連覇を追い求めます。

アリゾナキャンプ 2017

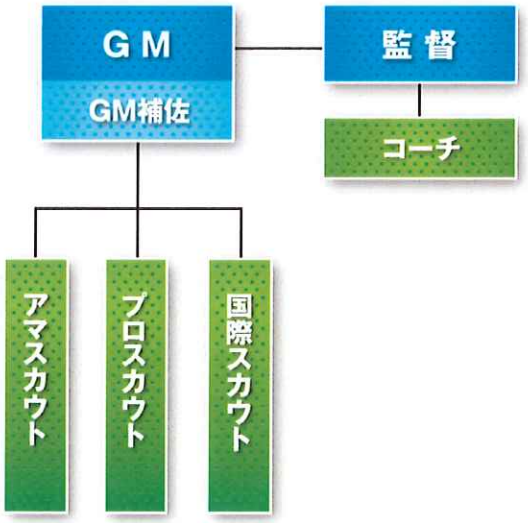
前年に引き続き、アメリカ合衆国アリゾナ州ピオリアにあるサンディエゴ・パドレスの施設を使用し、一軍春季キャンプを実施いたしました。2月1日から2月11日までの期間、北海道日本ハムファイターズにとりまして大変意義深く実りの多い春季キャンプとなりました。2月13日からは沖縄県名護市に移動し最終調整を行いました。

TEAM HEADQUARTERS チーム統轄本部 03

チーム体制「GM制度」

ファイターズは2005年から「ゼネラルマネージャー(GM)制度」を採用しています。GMは、選手編成やチーム方針の決定、トレードやドラフト戦略の最終決断など、チーム強化に関するほとんどの権限を有しています。「スカウティングと育成で勝つ」という方針は、ファイターズがGM制度の下で明確に打ち出したチーム強化方針です。

この制度下では、戦力を整える部門(＝GM)と与えられた戦力で戦う部門(＝監督・コーチ)の責任範囲が明確に分かれることにより、ユニフォームを着た監督・コーチ・選手が戦いに集中できる仕組みになっています。ファイターズはGMとチームが一体となった取り組みで、常勝チームを目指して常に新しい挑戦を続けています。



チーム方針「スカウティングと育成で勝つ」

ファイターズの目指すところは、「球界の常勝チーム」となることです。その目標を達成するために、「自ら発掘した選手を、独自の育成方法によって最大限に伸ばす。そしてその選手達がファイターズの勝利のために一丸となって戦う」というチーム強化の方針を立てています。その根幹となるのが「スカウティング」と「育成」部門なのです。

この部門を最大限に生かす基盤として、パソコンとネットワークによる情報システム(Baseball Operation System=BOS)を2005年に構築しました。ファイターズ現役選手をはじめ、プロ野球12球団、アマチュア有望選手らの成績や潜在能力、性格等を定量的に評価し、監督・コーチ陣やGMが瞬時に最新かつ多角的な情報を入手することが出来るようにしたのです。その結果、組織として最適な判断を下しやすくなり、チーム強化につながっています。